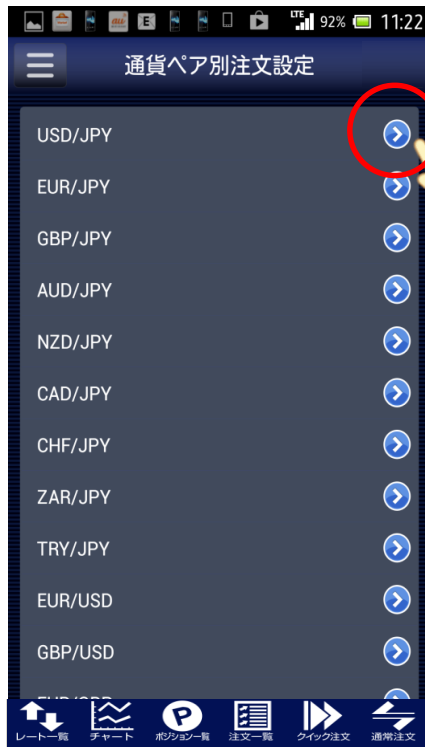


通貨ペア別注文設定

LION FX for Android

通貨ペア毎に注文画面を開いた際に表示される【Lot数】・【許容スリップ】・【指値幅(逆指)】・【トレール幅】の数値や決済pip差の設定を行うことができます。

※画面を表示させるには、【メニュー】の【通貨ペア別注文設定】をタップします。



①通貨ペア別注文設定画面を開き、設定をしたい通貨ペアの [右向き矢印] をタップします。



②設定画面が表示されます。

- 1 Lot数**
1Lot=1,000通貨となります。
※NOK/JPY・SEK/JPY・MXN/JPYは1Lot=10,000通貨
HUF/JPYは1Lot=100,000です。
- 2 許容スリップ**
ストリーミング注文やクイック注文利用時に適用される許容スリップの設定ができます。
- 3 指値幅**
注文画面に反映される指値幅(逆指値含む)の初期値が設定できます。
- 4 トレール幅**
注文画面に反映されるトレール幅の初期値が設定できます。
【許容スリップ】・【指値幅(逆指値幅)】・【トレール幅】はpip入力となります。
(例)USD/JPY 50銭→「500」と入力します。

※トレール幅の値を決済注文画面で変更する場合は、pip入力ではなく、レートの表示と同じ入力方法になりますので、ご注意ください。
トレール幅を500pip(=50銭)に設定→「0.500」と入力





1 決済pip差注文(クイック注文)

クイック注文画面での、
pip差による決済注文自動発注の発動の有無が設定できます。

2 決済pip差注文(通常成行)

成行注文画面での、
pip差による決済注文自動発注の発動の有無が設定できます。

3 決済pip差注文(通常ストリーミング)

ストリーミング注文画面での、
pip差による決済注文自動発注の発動の有無が設定できます。

4 決済pip執行条件/決済pip差

決済pip差注文は5パターンの注文が可能です。

- ① 決済pip差 指値
- ② 決済pip差 逆指値
- ③ 決済pip差 トレール
- ④ 決済pip差 指値 + 逆指値
- ⑤ 決済pip差 指値 + トレール

①～③の場合は、【決済pip差執行条件1】と【決済pip差1】の設定をしてください。

④・⑤の場合は、【決済pip差執行条件1】・【決済pip差1】及び【決済pip差執行条件2】・【決済pip差2】
でそれぞれ設定してください。

5 決済pip執行条件1.2

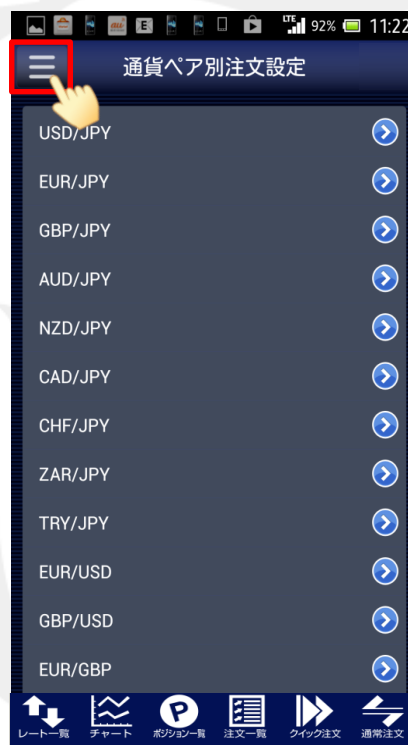
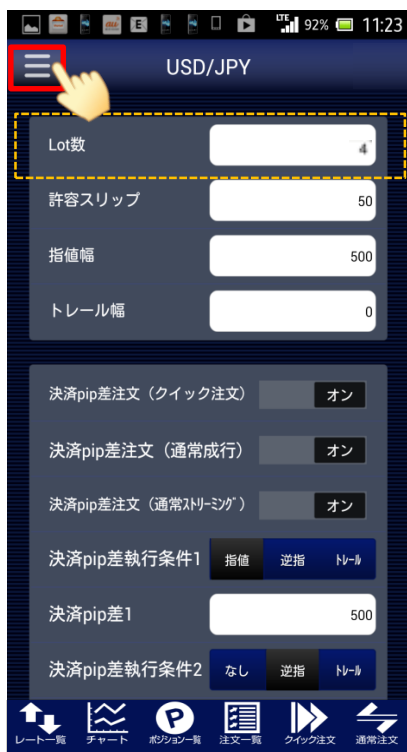
決済pip差の執行条件が設定できます。


決済pip差


決済pip差の値幅設定ができます。
pip入力となります。

全ての通貨ペアにコピー

上段で設定した内容が全ての通貨ペアに反映されます。



③例えば、Lot数の数値を「4」に変更します。
設定が完了すれば、
画面左上  をタップします。

④【通貨ペア別注文設定】画面に戻りました。
画面左上  を押しと
メニュー画面に戻ります。

⑤注文画面を開いた際に表示されるLot数の
数値が、常に「4」Lotで表示されるよう
になりました。